

投資信託説明書 (交付目論見書)

使用開始日 2019.4.23



マネー・プール・ファンドⅣ

追加型投信／国内／債券

※ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

| 商品分類 | | | 属性区分 | | | |
|---------|--------|-------------------|------------------------------|------|--------|---------------|
| 単位型・追加型 | 投資対象地域 | 投資対象資産 (収益の源泉) | 投資対象資産 | 決算頻度 | 投資対象地域 | 投資形態 |
| 追加型 | 国内 | 債券 | その他資産 (投資信託証券) (債券 一般) | 年1回 | 日本 | ファミリー ファンド |

※商品分類および属性区分の内容については、一般社団法人投資信託協会のホームページ(<http://www.toushin.or.jp/>)でご覧いただけます。

- 本書は、金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書です。
- ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)を含む詳細な情報は、委託会社のホームページで閲覧、ダウンロードできます。
- 本書には、約款の主な内容が含まれていますが、約款の全文は請求目論見書に掲載されています。
- ファンドの商品内容に関して重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき事前に受益者の意向を確認します。
- ファンドの財産は、信託法に基づき受託会社において分別管理されています。
- 請求目論見書は、販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。(請求目論見書をご請求された場合は、その旨をご自身で記録しておくようお願いいたします。)

この目論見書により行う「マネー・プール・ファンドⅣ」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を2018年10月22日に関東財務局長に提出しており、2018年10月23日に効力が生じております。

委託会社:三菱UFJ国際投信株式会社

ファンドの運用の指図等を行います。

金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第404号

設立年月日:1985年8月1日

資本金:20億円

運用投資信託財産の
合計純資産総額

(2019年1月31日現在)

ホームページアドレス

<https://www.am.mufg.jp/>

お客さま専用フリーダイヤル

0120-151034 (受付時間:営業日の9:00~17:00)

受託会社:三菱UFJ信託銀行株式会社

ファンドの財産の保管・管理等を行います。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

安定した収益の確保を目指して運用を行います。

ファンドの特色



わが国の公社債へ投資を行います。

- ①わが国の公社債を中心に投資し、常時適正な流動性を保持するように配慮します。
- ②投資する有価証券または金融商品は、主として残存期間または取引期間が1年以内のものとなります。
- ③わが国の政府および日本銀行が発行もしくは保証する資産以外の有価証券への投資にあたっては、原則として組入時において1社以上の信用格付業者等より、以下の信用格付条件を1つ以上満たすものに投資します。

(ア) A-2格相当以上の短期信用格付

(イ) A格相当以上の長期信用格付

(ウ) 信用格付がない場合、委託会社が上記(ア)、(イ)と同等の信用力を有すると判断したもの
なお、組入れにあたっては、次の範囲内とします。

・純資産総額に対し1発行体あたり原則1%を上限とします。

・2社以上の信用格付業者等からAA格相当以上の長期信用格付またはA-1格相当の短期信用格付のいずれかを受けているもの、もしくは信用格付のない場合には委託会社がこれらと同等の信用度を有すると判断した有価証券についてのみ、純資産総額に対し1発行体あたり原則5%を上限とします。

資金動向や市況動向、残存信託期間等の事情によっては、特色1のような運用ができない場合があります。



年1回の決算時(7月22日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

- ◆ 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

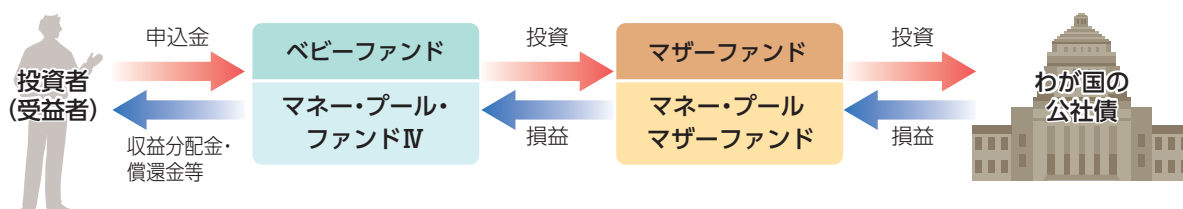
分配金額の決定にあたっては、原則として分配を抑制する方針とします。

(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

■ ファンドのしくみ

ファミリーファンド方式により運用を行います。



ファミリーファンド方式とは、受益者から投資された資金をまとめた投資信託をベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して、マザーファンドにおいて実質的な運用を行う仕組みです。

■ 主な投資制限

| | |
|-------------|--------------------------|
| マザーファンドへの投資 | マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。 |
| 外貨建資産への投資 | 外貨建資産への投資は行いません。 |



投資リスク



■ 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

金利変動 リスク

主要投資対象である公社債の価格は、一般的に金利が上昇(低下)した場合には下落(上昇)し、当ファンドの基準価額の変動要因となります。

信用 リスク

投資している有価証券等の発行体の倒産、財務状況または信用状況の悪化等の影響により、当ファンドの基準価額は下落し、損失を被ることがあります。

上記のリスクは主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

■ その他の留意点

- 投資信託(ファンド)の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 当ファンドのお取引に関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。
- 投資環境によっては、マイナス利回りの公社債や金融商品等での運用となることがあり、この場合、基準価額の下落要因となりますのでご注意ください。

■ リスクの管理体制

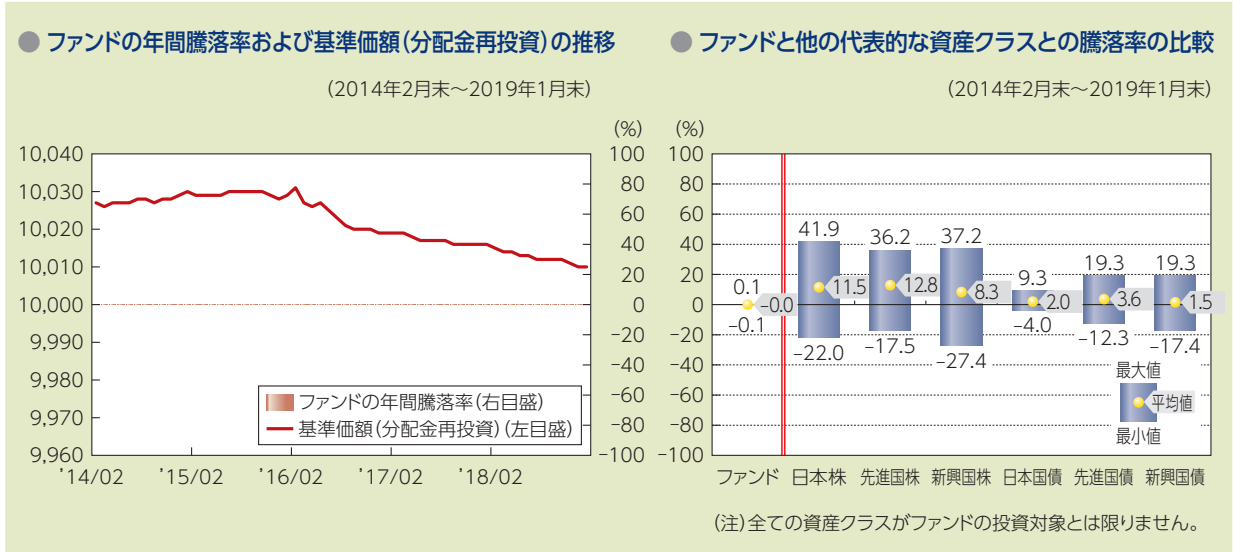
ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。また、定期的に関催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。



投資リスク

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較等

下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。



- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したもものとして計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率は、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

代表的な資産クラスの指数について

| 資産クラス | 指数名 | 注記等 |
|-------|-------------------------------|--|
| 日本株 | TOPIX(配当込み) | TOPIX(配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数(TOPIX)に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX(配当込み)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX(配当込み)の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX(配当込み)の算出もしくは公表の停止またはTOPIX(配当込み)の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。 |
| 先進国株 | MSCIコクサイ・インデックス(配当込み) | MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。 |
| 新興国株 | MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み) | MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。 |
| 日本国債 | NOMURA-BPI(国債) | NOMURA-BPI(国債)とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI(総合)のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。 |
| 先進国債 | FTSE世界国債インデックス(除く日本) | FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。 |
| 新興国債 | JPモルガン GBI-EMグローバル・ダイバーシファイド | JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。 |

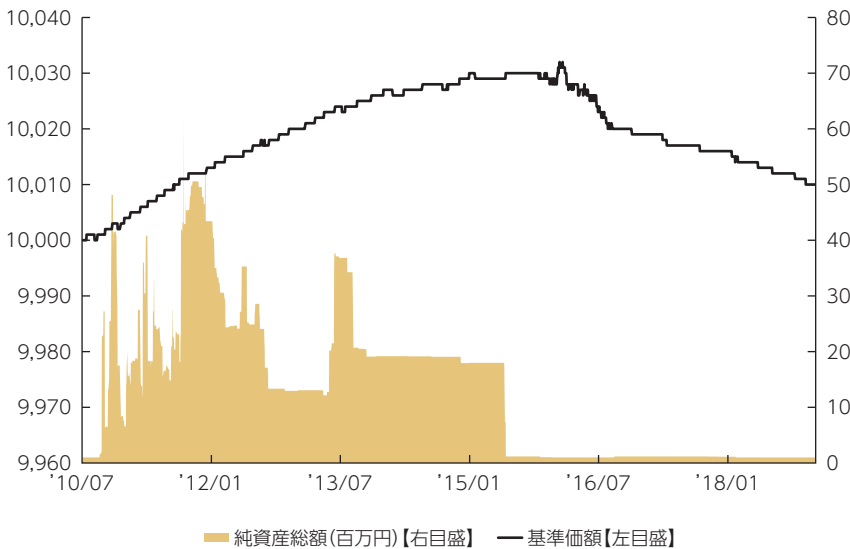
(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。



運用実績

2019年1月31日現在

■ 基準価額・純資産の推移 2010年7月23日(設定日)～2019年1月31日



- 基準価額は10,000を起点として表示
- 基準価額は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■ 基準価額・純資産

| | |
|-------|---------|
| 基準価額 | 10,010円 |
| 純資産総額 | 1.0百万円 |

■ 分配の推移

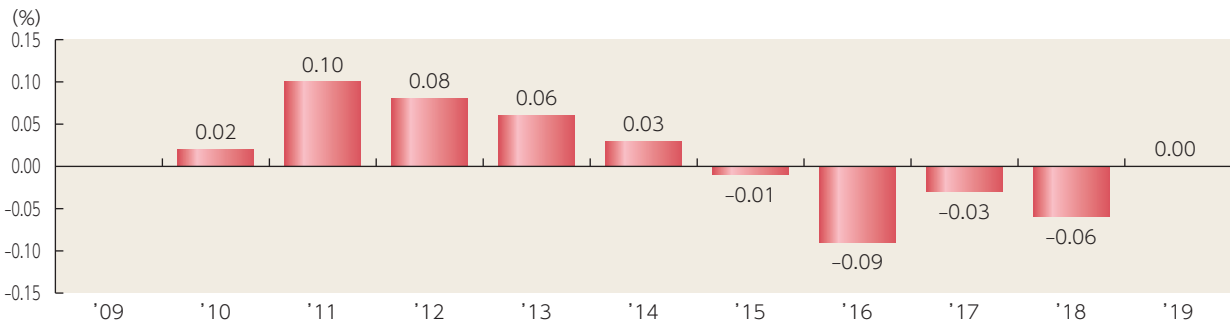
| | |
|---------|----|
| 2018年7月 | 0円 |
| 2017年7月 | 0円 |
| 2016年7月 | 0円 |
| 2015年7月 | 0円 |
| 2014年7月 | 0円 |
| 2013年7月 | 0円 |
| 設定来累計 | 0円 |

•分配金は1万口当たり、税引前

■ 主要な資産の状況

| 種別構成 | 比率 |
|--------------------|--------|
| コールローン他 (負債控除後) | 100.0% |
| 合計 | 100.0% |

■ 年間収益率の推移





- 収益率は基準価額で計算
- 2010年は設定日から年末までの、2019年は年初から1月31日までの収益率を表示
- ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。



手続・手数料等

■ お申込みメモ

| | | |
|--|---|---|
|  購入時 | 購入単位 | 販売会社が定める単位(スイッチングによる購入に限りです。) 販売会社にご確認ください。 |
| | 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先で ご確認ください。 |
| | 購入代金 | 販売会社が指定する期日までにお支払いください。 |
|  換金時 | 換金単位 | 販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。 |
| | 換金価額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額 |
| | 換金代金 | 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支 払いします。 |
|  申込に ついて | 申込締切時間 | 原則として、午後3時までに販売会社が受け付けたものを当日の申込分とします。 |
| | 購入の申込期間 | 2018年10月23日から2019年10月21日まで ※申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新 される予定です。 |
| | 換金制限 | 当ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける 場合があります。 |
| | 購入・換金申込受付 の中止及び取消し | 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得 ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびす でに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 |
|  その他 | スイッチング | 当ファンドの購入は、アジア・カントリー・セレクションを構成する各ファンド(当ファ ンドを除きます。)からのスイッチングによる購入の場合に限りです。 アジア・カントリー・セレクションは、当ファンドを含む複数のファンドから構成され ています。 くわしくは、投資信託説明書(請求目論見書)をご覧ください。 |
| | 信託期間 | 2020年7月22日まで(2010年7月23日設定) |
| | 繰上償還 | 以下の場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。 ・当ファンドを償還させることが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき なお、当ファンドのスイッチング対象となるファンドがすべて償還することとなっ た場合には繰上償還となります。 |
| | 決算日 | 毎年7月22日(休業日の場合は翌営業日) |
| | 収益分配 | 年1回の決算時に分配金額を決定します。 (分配金額の決定にあたっては、原則として分配を抑制する方針とします。) 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。 |
| | 信託金の限度額 | 1,000億円 |
| | 公告 | 原則として、電子公告の方法により行い、ホームページ(https://www.am.mufg.jp/)に掲載します。 |
| 運用報告書 | 毎決算後および償還後に交付運用報告書が作成され、販売会社を通じて知れて いる受益者に交付されます。 | |
| 課税関係 | 課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA (未成年者少額投資非課税制度)」の適用対象です。 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。 | |



■ ファンドの費用・税金



ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料 かかりません。

信託財産留保額 ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

日々の運用収益率*に応じて、日々の純資産総額に対して、**年率0.756% (税抜 年率0.700%) 以内**をかけた額

$$1 \text{ 万口当たりの信託報酬} = \text{保有期間中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times (\text{保有日数} / 365)$$

※上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

くわしくは、次の表をご覧ください。

ただし、信託財産の純資産総額に、年率0.0108% (税抜 年率0.0100%) をかけた額を下限とします。

| 運用収益率 | 信託報酬率 |
|-------------|-----------------------------|
| 年7%超の場合 | 0.756% (税抜 0.700%) 以内 |
| 年2%超7%以下の場合 | 運用収益率×[10.8% (税抜 10.0%)] 以内 |
| 年1%超2%以下の場合 | 0.216% (税抜 0.200%) 以内 |
| 年1%以下の場合 | 運用収益率×[21.6% (税抜 20.0%)] 以内 |

*運用収益率とは、計算日に発生する収益等の合計額から計算日に発生する経費等(運用管理費用を除きます。)の合計額を控除した金額を、計算日における信託財産の純資産総額で割った率を年率換算したものをいいます。

※消費税率が10%となった場合は、以下の通りとなります。

日々の運用収益率*に応じて、日々の純資産総額に対して、**年率0.770% (税抜 年率0.700%) 以内**をかけた額

$$1 \text{ 万口当たりの信託報酬} = \text{保有期間中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times (\text{保有日数} / 365)$$

※上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

くわしくは、次の表をご覧ください。

ただし、信託財産の純資産総額に、年率0.0110% (税抜 年率0.0100%) をかけた額を下限とします。

| 運用収益率 | 信託報酬率 |
|-------------|-----------------------------|
| 年7%超の場合 | 0.770% (税抜 0.700%) 以内 |
| 年2%超7%以下の場合 | 運用収益率×[11.0% (税抜 10.0%)] 以内 |
| 年1%超2%以下の場合 | 0.220% (税抜 0.200%) 以内 |
| 年1%以下の場合 | 運用収益率×[22.0% (税抜 20.0%)] 以内 |

*運用収益率とは、計算日に発生する収益等の合計額から計算日に発生する経費等(運用管理費用を除きます。)の合計額を控除した金額を、計算日における信託財産の純資産総額で割った率を年率換算したものをいいます。

各支払先への配分は、次の通りです。

| 支払先 | 配分 | 対価として提供する役務の内容 |
|------|------------------|--|
| 委託会社 | 信託報酬率に46.6%をかけた率 | 当ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等 |
| 販売会社 | 信託報酬率に46.6%をかけた率 | 交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等 |
| 受託会社 | 信託報酬率に6.8%をかけた率 | 当ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等 |

運用管理費用
(信託報酬)



手続・手数料等

その他の費用・手数料

以下の費用・手数料についても当ファンドが負担します。

- ・監査法人に支払われる当ファンドの監査費用
- ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
- ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
- ・その他信託事務の処理にかかる諸費用 等

※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

*運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、当ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時に当ファンドから支払われます。

*上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、当ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

Tax 税金

税金は、以下の表に記載の時期に適用されます。この表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

| 時期 | 項目 | 税金 |
|---------------|-----------|--|
| 分配時 | 所得税および地方税 | 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315% |
| 換金(解約)時および償還時 | 所得税および地方税 | 譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315% |

※上記は、2019年1月末現在のものです。

※「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)」をご利用の場合

毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。くわしくは、販売会社にお問合わせください。

※法人の場合は、上記とは異なります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等に確認されることをお勧めします。

